

天竜杉の間仕切りで地産材活用リフォーム



天竜杉で快適オフィス エネジン仕切り導入

LPガス販売のエネジン（浜松市中央区）は、本社オフィスに、天竜杉を使用した仕切りを導入した。社員にリラックスして仕事をしてもらおう狙いで、「仕事

エネジン本社に設置された天竜杉を使った仕切り。浜松市中央区で

の効率が上がった」などと好評だという。

仕切りは数十本の木材を横に並べた構造で、高さ、幅はいずれも約2尺。今年2月、本社2階の営業企画部のオフィスと、来客対応を中心に使用するスペースの間に設置した。都市部を

中心にオフィスに木材を取り入れる動きが広がっており、柔らかな雰囲気の中で社員が仕事ができるよう設置を決めたという。

住宅メーカーの三立木材（同市天竜区）が施工した。担当者は「仕切りがあることで外部からの視線を感じることが減り、作業効率が上がったという声も上がっている。今後、職場内に積極的に木材を取り入れていきたい」と話している。

（鈴木みのり）

地産材（天竜杉）の活用を促すために、エネジン本社で間仕切りを設置しました。新築や戸建てリフォームだけでなく、ビルやオフィスなど法人でも地産材の活用ができるモデルとしての役割も担っています。地産材のオフィスリフォームが、天竜杉の需要拡大の一助になっていけたらと思います。

令和6年(2024年)4月16日(火) 中日新聞

